

2012年3月期 決算説明会

2012年5月11日
株式会社電通国際情報サービス

AGENDA

第1部 2012年3月期決算概況、および 2013年3月期業績予想について

取締役 専務執行役員
上原 伸夫

第2部 中期経営計画 推進状況について

代表取締役社長
釜井 節生

I. 2012年3月期決算概況、 および2013年3月期業績予想

取締役 専務執行役員
上原 伸夫

- 3 -

(1) 2012年3月期 連結業績

- 【前期比】 売上高は6.0%の増収。不採算案件、ソフトウェア製品減収等により売上総利益率低下も、増収効果により売上総利益増益。販管費を前期並みに抑制したことから、営業利益増益。
- 【予想比】 販管費を抑制したものの、不採算案件の発生による原価増があり、営業利益は計画未達。税制改正の影響126百万円もあったため、当期純利益は▲15.8%の未達となった。

(単位:百万円)

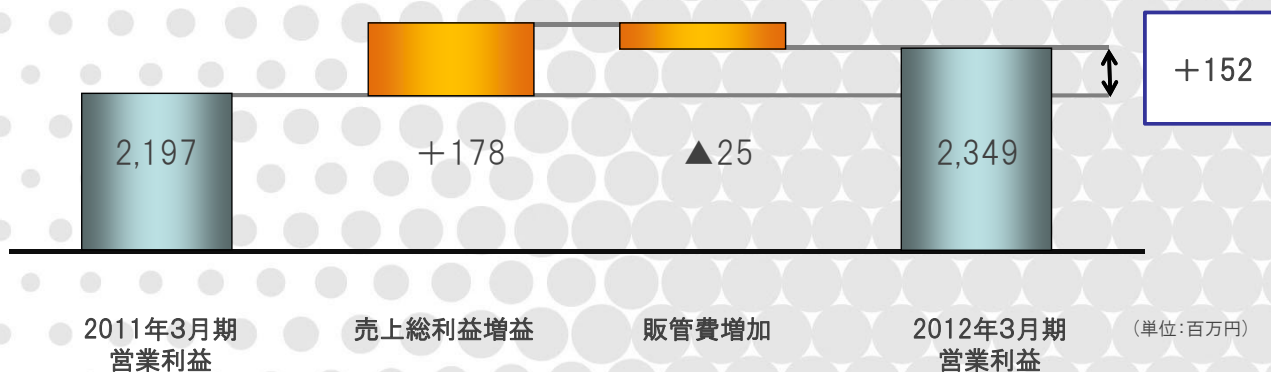
	2012年 3月期	前期との比較			2011/10/20発表予想値との比較		
		前期実績	増減額	増減率	予想値	増減額	増減率
売上高	63,869	60,232	+3,637	+6.0%	64,500	▲631	▲1.0%
売上総利益	19,883	19,705	+178	+0.9%	—	—	—
売上総利益率	31.1%	32.7%	▲1.6pts	—	—	—	—
販管費及び一般管理費	17,533	17,508	+25	+0.1%	—	—	—
営業利益	2,349	2,197	+152	+6.9%	2,700	▲351	▲13.0%
営業外収益	258	240	+18	+7.5%	—	—	—
営業外費用	111	86	+25	+29.1%	—	—	—
経常利益	2,496	2,350	+146	+6.2%	2,900	▲404	▲13.9%
特別利益	106	17	+89	+523.5%	—	—	—
特別損失	—	2,197	▲2,197	—	—	—	—
当期純利益	1,516	▲132	+1,648	—	1,800	▲284	▲15.8%

- 4 -

(2) 連結営業利益の増減要因(前期比)

売上総利益
主な増減要因
(+178)

- ・増収効果(+約12億円)
- ・不採算案件による原価増(▲約7億円)
- ・ソフトウェア製品減収等による売上総利益率低下の影響(▲約3億円)



(3) 事業セグメント別 連結売上高

【前期比】

金融

銀行/損保/リース向け受託システム開発好調も、大手銀行向け「流動性管理システム」の反動減等により減収。

ビジネス系

会計分野のコンサル、ソフトウェア商品(Oracle EBS、Hyperion等)が拡大。ソフトウェア製品はSAPとデータ連携するパッケージ「BusinessSPECTRE」、人事管理「POSITIVE」が堅調。

エンジニアリング系

製品開発分野のコンサル、設計支援ソフトウェア商品(CAD/CAE/PLM)のライセンス販売が自動車、電機、造船向け等に拡大。

コミュニケーションIT

電通グループとの協業ビジネスが拡大。

(単位:百万円)

	2012年 3月期	前期との比較			2011/10/20発表予想との比較		
		前期実績	増減額	増減率	予想値	増減額	増減率
金融ソリューション	17,722	18,133	▲411	▲2.3%	17,698	+24	+0.1%
エンタープライズソリューション・ ビジネス系	14,063	12,651	+1,412	+11.2%	15,074	▲1,011	▲6.7%
エンタープライズソリューション・ エンジニアリング系	19,572	18,407	+1,165	+6.3%	19,692	▲120	▲0.6%
コミュニケーションIT	12,511	11,039	+1,472	+13.3%	12,035	+476	+4.0%
合計	63,869	60,232	+3,637	+6.0%	64,500	▲631	▲1.0%

※2012年3月期より、金融ソリューションセグメントの一部の売上(3億円)を、エンタープライズソリューション・ビジネス系に移管しています。

(4) サービス品目別 連結売上高

【前期比】

コンサルティング
受託システム開発
ソフトウェア製品
ソフトウェア商品

アウトソーシング運用保守
情報機器他

会計分野、製品開発分野が拡大。
銀行/損保/リース向け、および電通との協業分野が拡大。
「BusinessSPECTRE」「POSITIVE」堅調も「流動性管理」の反動減により減収。
電通グループとの協業分野(Salesforceライセンス)、製品開発分野の設計支援
ソフト(CAD/CAE/PLM)、会計分野(Oracle EBS、Hyperion等)が拡大。
電通グループ向けが拡大。
金融業、サービス業の主要顧客向けが拡大。

(単位:百万円)

	2012年 3月期	前期との比較			2011/10/20発表予想値との比較		
		前期実績	増減額	増減率	予想	増減額	増減率
コンサルティングサービス	2,711	2,239	+472	+21.1%	2,838	▲127	▲4.5%
受託システム開発	18,858	17,639	+1,219	+6.9%	19,443	▲585	▲3.0%
ソフトウェア製品	7,965	8,915	▲950	▲10.7%	9,008	▲1,043	▲11.6%
ソフトウェア商品	22,002	20,298	+1,704	+8.4%	21,873	+129	+0.6%
アウトソーシング・運用保守サービス	5,570	5,204	+366	+7.0%	5,420	+150	+2.8%
情報機器販売・その他	6,760	5,935	+825	+13.9%	5,915	+845	+14.3%
合計	63,869	60,232	+3,637	+6.0%	64,500	▲631	▲1.0%

(5) 連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	2011年4月～ 2012年3月	2010年4月～ 2011年3月	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	2,406	3,612	▲1,206
投資活動による キャッシュ・フロー	▲1,502	▲1,417	▲85
財務活動による キャッシュ・フロー	▲1,764	▲1,900	+136
現金及び現金同等物に 係る換算差額	5	▲91	+96
現金及び現金同等物の 増減額(▲は減少)	▲855	202	▲1,057
現金及び現金同等物の 期首残高	11,417	11,215	+202
現金及び現金同等物の 期末残高	10,562	11,417	▲855

<今期のピックアップ>

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益(2,603百万円)
減価償却費(2,916百万円)
受注損失引当金(393百万円)
売上債権の増加(▲2,962百万円)
法人税等の支払(▲908百万円)

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資有価証券の売却による収入(649百万円)
無形固定資産の取得による支出(▲1,636百万円)
有形固定資産の取得による支出(▲237百万円)
関係会社株式の取得による支出(▲150百万円)

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

リース債務の返済による支出(▲1,112百万円)
配当金の支払(▲651百万円)

(6) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2012年 3月31日	2011年 3月31日	増減	主な増減要因(対前連結会計年度末)
流動資産	33,716	31,294	+2,422	売掛金の増加(2,974百万円) 仕掛品の増加(535百万円)
固定資産	18,579	18,276	+303	リース資産の増加(529百万円) 投資有価証券の増加(310百万円)
資産合計	52,295	49,570	+2,725	
流動負債	15,001	14,321	+680	受注損失引当金の計上(393百万円) 買掛金の増加(189百万円)
固定負債	3,012	2,375	+637	リース債務の増加(456百万円)
負債合計	18,013	16,696	+1,317	
純資産合計	34,281	32,873	+1,408	当期純利益の計上(1,516百万円)および剰余金の 配当(▲651百万円)による利益剰余金の増加(865 百万円)
負債純資産合計	52,295	49,570	+2,725	

(7) 受注・受注残

(単位:百万円)

事業セグメント別	受注高		受注残高	
	2012年3月期	前期比(増減率)	2012年3月期	前期比(増減率)
金融ソリューション	14,633	▲0.4%	2,873	+28.2%
エンタープライズソリューション・ビジネス系	8,073	+31.7%	1,890	+60.9%
エンタープライズソリューション・エンジニアリング系	3,455	+9.3%	369	+40.8%
コミュニケーションIT	5,651	+26.9%	577	+465.7%
合計	31,814	+11.9%	5,711	+51.0%

サービス品目別	受注高		受注残高	
	2012年3月期	前期比(増減率)	2012年3月期	前期比(増減率)
受託システム開発	20,111	+10.0%	3,464	+56.6%
ソフトウェア製品アドオン開発	4,070	▲0.8%	1,177	+13.5%
ソフトウェア商品アドオン開発	7,633	+25.9%	1,070	+101.1%
合計	31,814	+11.9%	5,711	+51.0%

受注・受注残は、当社のサービス品目のうち、受託システム開発、ソフトウェア製品/商品のアドオン開発のみが対象。コンサルティングサービス、ソフトウェア製品・商品のライセンス、ライセンス保守、アウトソーシング・運用保守サービス、情報機器等は含まれておりません。

(8) 2013年3月期 連結業績予想

- 【通期】 金融業向けならびに電通グループ向けの拡大による増収を見込む。R&Dを積み増すものの、中計最終年度の営業利益率目標7%に向け、営業利益率5%(前期比1.3p改善)を目指す。
- 【上期】 将来の製品化を目論んで戦略的に受注した案件等のため売上総利益率は低下の見通し。R&Dの積み増しは上期に実施にするため、営業利益は減益を見込む。
- 【配当】 2012年3月期と同じ年間20円を予定。

	2013年 3月期 上期	前期との比較			2013年 3月期 通期	前期との比較		
		前期実績	増減額	増減率		前期実績	増減額	増減率
売上高	31,600	30,638	+962	+3.1%	67,700	63,869	+3,831	+6.0%
営業利益	510	892	▲382	▲42.8%	3,380	2,349	+1,031	+43.9%
営業利益率	1.6%	2.9%	▲1.3p	—	5.0%	3.7%	+1.3p	—
経常利益	530	1,017	▲487	▲47.9%	3,450	2,496	+954	+38.2%
当期純利益	270	716	▲446	▲62.3%	2,100	1,516	+584	+38.5%

(9) 事業セグメント別 連結売上高予想

- 金融 ビジネス系 大手銀行向け受託システム開発、地域金融機関向け「BANK・R」の売上拡大。
- エンジニアリング系 人事管理、会計分野が拡大。
- コミュニケーションIT PLMを軸としたSIビジネス、構想設計業務領域のソリューションビジネスが拡大。
- 電通グループとの協業は前期並みも、電通グループの基幹系システムの受注拡大。

	2013年 3月期 上期	前期との比較			2013年 3月期 通期	前期との比較		
		前期実績	増減額	増減率		前期実績	増減額	増減率
金融ソリューション	8,652	8,801	▲149	▲1.7%	19,035	17,722	+1,313	+7.4%
エンタープライズソリューション・ビジネス系	6,713	6,679	+34	+0.5%	14,597	14,063	+534	+3.8%
エンタープライズソリューション・エンジニアリング系	9,331	9,473	▲142	▲1.5%	19,852	19,572	+280	+1.4%
コミュニケーションIT	6,902	5,684	+1,218	+21.4%	14,214	12,511	+1,703	+13.6%
合計	31,600	30,638	+962	+3.1%	67,700	63,869	+3,831	+6.0%

(10) サービス品目別 連結売上高予想

コンサルティング
受託システム開発
ソフトウェア製品
ソフトウェア商品
アウトソーシング・運用保守
情報機器販売

製品開発分野は拡大も、IFRS関連が減少の見込み。
大手銀行向け、ならびに電通グループ向けを中心に拡大。
人事管理、会計分野、製品開発分野が拡大。
会計分野が拡大。
電通グループ向けが拡大。
前期大型案件の反動減。

	2013年 3月期 上期	前期との比較			2013年 3月期 通期	前期との比較		
		前期実績	増減額	増減率		前期実績	増減額	増減率
コンサルティング	1,067	1,035	+32	+3.1%	2,580	2,711	▲131	▲4.8%
受託システム開発	9,967	9,168	+799	+8.7%	22,189	18,858	+3,331	+17.7%
ソフトウェア製品	3,939	3,807	+132	+3.5%	9,136	7,965	+1,171	+14.7%
ソフトウェア商品	10,821	10,628	+193	+1.8%	22,382	22,002	+380	+1.7%
アウトソーシング・運用保守	2,830	2,752	+78	+2.8%	5,862	5,570	+292	+5.2%
情報機器販売・その他	2,974	3,245	▲271	▲8.4%	5,549	6,760	▲1,211	▲17.9%
合計	31,600	30,638	+962	+3.1%	67,700	63,869	+3,831	+6.0%

II. 中期経営計画 推進状況について

代表取締役社長
釜井 節生

中期経営計画「iSiD Open Innovation 2013～価値協創～」

中計 6つの基本方針

- ①競争優位分野への集中
- ②電通との協業加速
- ③先端技術活用による新規ビジネスの開発
- ④人材力強化
- ⑤安定収益基盤の拡充
- ⑥コスト構造改革

中計 業績目標

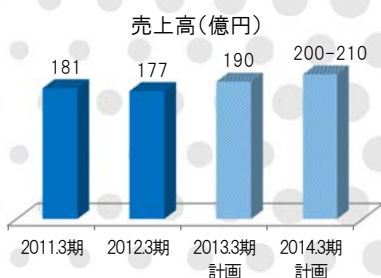
2014年3月期

売上高	800億円
営業利益	55億円
営業利益率	7%
ROE	8%

中期経営計画 推進状況

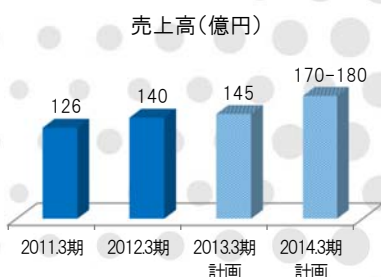
競争優位分野への集中

金融ソリューションセグメント



- **大手銀行への深耕**
 - グローバル展開の支援
 - 市場系/トランザクションバンキング/決済系ソリューション分野への集中
- **地域金融機関向けビジネスの拡大**
 - 電通協業によるマーケティングサービス提供
 - ダイレクトチャネルソリューション拡充および「次世代版BANK・R」開発中

ビジネス系セグメント

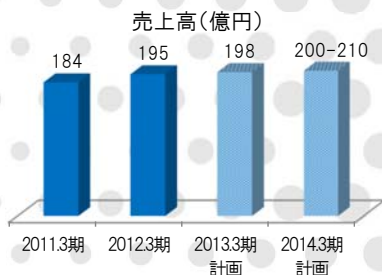


- **会計ソリューション分野の拡充**
 - 経営分析・管理連結やグローバル会計のニーズ拡大に対応
 - 「STRAVIS」のクラウド化完了、次バージョン開発中
- **人事ソリューション分野の拡充**
 - グローバルタレントマネジメント、スキル・技能管理のニーズ拡大に対応
 - 「POSITIVE」のクラウド化完了、次バージョン開発中

中期経営計画 推進状況

競争優位分野への集中

エンジニアリング系セグメント



● 構想設計ソリューションへの注力

- 構想設計ソリューション「iQUAVIS」、自動車業界中心に受注拡大
- システム設計MBD (Model Based Design /Development)をサポートする製品開発支援プラットフォーム開発中

● 自動車業界に特化したソリューション提供の推進

- 顧客視点によるiSiD-タルソリューションを提案
- 推進組織およびセグメント横断プロジェクト設置(2012/4)

コミュニケーションITセグメント



● 電通グループ基幹系システム構築/運用の推進

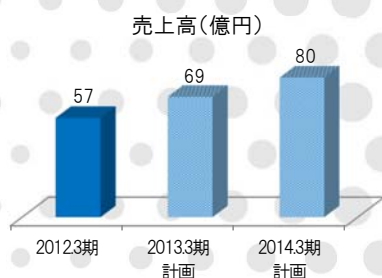
- 基幹系システムの大型更改プロジェクト対応
- グループ会社との連携により、安定運用の徹底

● 電通との協業加速

中期経営計画 推進状況

競争優位分野への集中

セグメント共通:グローバル



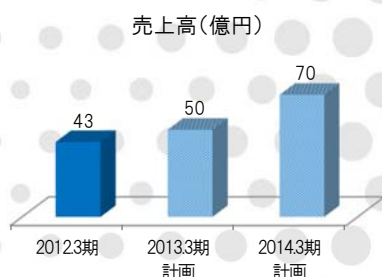
● ASEAN市場開拓

- シンガポール現法をハブにASEAN市場開拓
- シンガポール、上海、香港、北京、シンセンに続く新規点検
- グローバル事業推進本部設置(2012/4)

● グローバルソリューションの拡充

- リス向け基幹パッケージ「LAMP」、8社/6ヶ国に展開
- BANK-R中国版(信用リスク管理)開発中

セグメント共通:クラウド



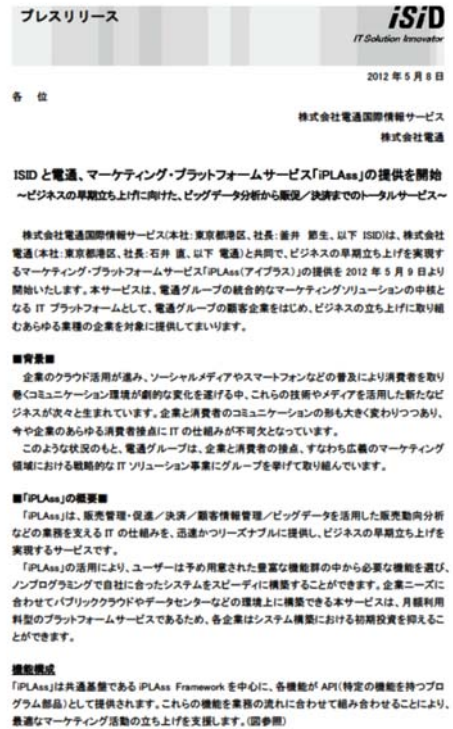
● クラウドソリューション(CLOUDiS)の拡充

- サービスラインアップ拡充~27ソリューションに拡大
- セルソフォース・ドットコム社、Amazon Web Services社、ビットアイル等クラウドベンダーとの協業推進

中期経営計画 推進状況

電通との協業の加速

- **マーケティングプラットフォーム「iPLAss」市場投入**
 - 電通協業の基盤となるマーケティングプラットフォーム「iPLAss」サービス開始(2012/5)
～ビジネスの早期立ち上げに向けた、ビッグデータ分析から販促/決済までのトータルサービス～
- **クラウドSIの推進**
 - クラウドプラットフォーム「Force.com」によるアジャイル開発
 - 公共向け、CRM領域で拡大
- **アジア地域における協業推進**
 - 中国の電通グループ向けITシェアードサービス推進
 - アジア地域におけるマーケティングソリューション領域の協業



中期経営計画 推進状況

最先端技術を活用した新しいビジネス開発の取り組み



- **オープンイノベーション研究所(イノラボ)活動本格化**
 - 位置・空間情報、AR技術を持つクウジット(株)をグループ会社化(2011/7)
 - 先端技術の実証実験場「イノラボ・コネクティングスタジオ」オープン(2011/11)
- **位置測位技術を活用したサービス実用化**
 - 東京国立博物館、クウジットと共同研究プロジェクト発足
～Android向け博物館ガイド「トールハクナビ」リリース(2012/4)
 - 都市開発/商業施設開発に対し、「位置連動サービス」ソリューションの提供開始
- **ビジネスインキュベーション推進**
 - 公営塾「隠岐国学習センター」と教育プラットフォームの実証実験開始(2012/2)
 - 女性向けコーディネートiPhone/iPadアプリ「Happy Closet」リリース(2012/4)
～社内公募プログラムからの事業化第1弾～



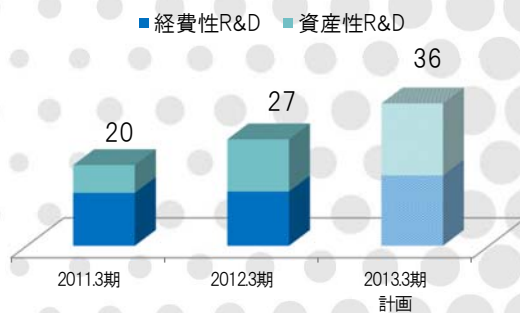
人材力の強化

● 人材イノベーションプロジェクト推進

- 組織力強化のため事業部組織階層の改編(2012/4)
- グローバル人材育成制度拡充
- マネジメント教育制度拡充
- 多様性を重視した採用の推進

積極的なR&Dの実施

研究開発費推移(億円)



● 主な活動

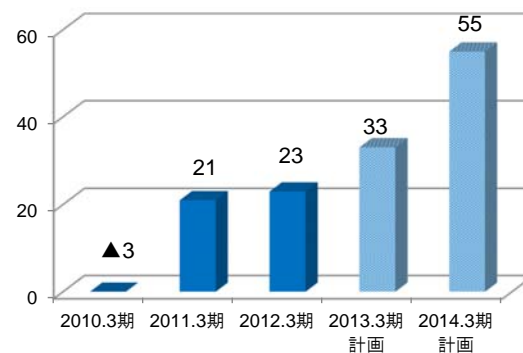
- イノラボ
- 開発技術研究
- 独自ソリューションの強化
地域金融機関向け「BANK・R」シリーズ
構想設計ソリューション「iQUAVIS」
人事管理ソリューション「POSITIVE」
連結会計ソリューション「STRAVIS」
マーケティングプラットフォーム「iPLAss」
クラウドソリューション「CLOUDiS」
- 新規ソリューションの開発

ISiD Open Innovation 2013 ～価値協創～

売上高(億円)



営業利益(億円)



主要プレスリリース <2011年11月～2012年5月>

金融ソリューションセグメント

- 11/4 名古屋銀行の中国拠点向け業務支援システムを構築
- 11/15 地域金融機関向け基幹業務クラウドサービス「BANK・R on CLOUDiS」の提供を開始
- 11/18 震災の影響を受けた全国中小企業の経営実態を調査
- 11/24 滋賀銀行の業務改革に向けた次世代業務支援システムを受注
- 12/19 八千代銀行、「BANK・R(バンクアール)」の導入で業務効率化を促進
- 1/11 長野県信連の信用リスク管理システムを構築
- 1/30 金融イノベーションに特化した日本初のイベント「FIBC2012」を開催
- 2/17 宮崎太陽銀行の「不動産担保評価・管理」システムを構築
- 3/5 「金融イノベーション」創造に向けてExCoと共同プロジェクトを開始
- 3/23 紀陽銀行の投信ネット販売システムをクラウドで構築

エンタープライズソリューション・ビジネス系セグメント

- 1/5 統合人事パッケージソフト「POSITIVE」の英語対応版を提供開始
- 3/12 技術者のスキル情報管理システム「POSITIVE GMS」を提供開始
- 4/2 タレントマネジメントシステムのサクセスファクターズと提携
- 5/9 連結会計クラウド「STRAVIS on CLOUDiS」をアマゾン ウェブ サービス上で提供

コミュニケーションITセグメント

- 11/1 電通グループのITソリューションを提供するプロジェクトチーム「team DoIT！」が発足
- 2/16 スマートフォン向けエリア限定Wi-Fi利用放送実験に成功
- 4/20 生活者参加型の課題解決プログラム「D-hints(ディーヒント)」を開発
- 5/8 iSiDと電通、マーケティング・プラットフォームサービス「iPLAss」の提供を開始

クラウド・オープンイノベーション研究所・他

- 12/8 スマホアプリを用いて来街者に新たな体験を提供する実証実験イベント『サンタガールをさがせ！2011 in 渋谷』を開催
- 1/20 教育分野のITプラットフォーム構築を目指すプロジェクトチーム「教育ラボ」を立ち上げ
- 2/2 島根県隠岐諸島の公営塾「隠岐国学習センター」と共同で教育プラットフォームの実証実験開始
- 2/28 「AWS Direct Connect」を利用したシステム構築サービスを開始
- 4/6 ソーシャルおしゃれアプリ「Happy Closet」の提供を開始
- 4/16 モスフードサービスの社内コミュニティサイトにSNS「Spigit」を提供
- 4/19 東京国立博物館、iSiD、クワジット ITでより豊かな鑑賞体験の創出を目指す「トーハクなび共同研究プロジェクト」を発足